

令和5年度

校長室だより 12月号 No. 8

宝達志水町立押水第一小学校 R5.12.15

2023年もご支援・ご協力ありがとうございました

22日で2学期が終了し、令和5年も残りあと2週間余りとなりました。朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、これから路面も凍結する日もあることと思います。児童には登下校時の安全な歩行を適宜呼びかけつつ、職員は通勤時の車の一層の安全運転等につきましてお互いに注意喚起をしているところです。保護者・地域の皆様におかれましても冬道・雪道の自家用車の運転にはくれぐれもお気をつけください。

さて、個人的には終わってみれば今年も「あっという間の1年」だったように感じます。自身が小学生の頃は「1年はとても長い時間」だったように感じておりましたが、年齢を重ねる毎に「1年がより早く過ぎ去っていく」ように感じられていきます。以前ネットの情報サイトにその理由が書かれているコラムが目にとまりました。いわく「(一説によると)子どもの頃は初めて体験することばかりで、毎日が新鮮で新しい出会いや発見がたくさんありますが、年を重ねるにつれ、新しい経験をする機会が失われ、未来に起こりうる突発的な出来事も想定範囲内であることも多く、日々の生活に新鮮味がなくなってしまうことが多いから」とのことでした。

そういう意味においては、子どもたちは、今年はコロナの扱いが2類から5類となり、過去3年のコロナ禍による自粛から徐々に解放され、新しい経験をする機会も多かったのではないのでしょうか。押水第一小の子どもたちは、たくさんの行事・活動が計画されていた2学期も新鮮な気持ちで、力強く取り組んで活躍してくれました。行事だけでなく毎日の学習もより主体的に、一生懸命考え、友達と考えを交流し、みんなの前で発表してきました。また計算練習や漢字練習などの基礎練習にも実直に取り組む力をつけています。どうか2学期を子どもとともにふり返り、新しい年にさらに挑戦しようとする気持ちが湧き立つような声かけをご家庭でもお願いできればと思います。そして、折角の冬休みですので、できる限り日本の伝統行事や習わしに関わることで、日本や地域・家庭のよさを子どもに味わわせていただければ幸いです。

令和5年も様々な教育活動におきまして、保護者・地域の皆様からはたくさんのご支援とご協力をいただきました。心からお礼申し上げます。どうか健康には十分ご留意され、よいお年をお迎えください。ありがとうございました。



**よいお年をお迎え
くださいませ！**



応募作品・入賞おめでとう

夏休みの宿題や授業の一環として、学校から応募した各種コンクール等の審査結果です。主な県・郡・町主催のコンクールや校内各種大会の入賞者については「学校だより」で紹介しておりますので、本紙面では応募作品の結果等、「学校だより」に掲載されていない作品展やコンクールについて紹介させていただきます。

動物愛護絵画

入選 4年 河端 真央

JA バンク石川「くらしの絵」コンクール

銅賞 2年 中西 健翔 2年 中野 心華

第34回 MOA美術館宝達志水町児童作品展

金賞 6年 中江 郷 銅賞 5年 金子 陽向汰

社会を明るくする運動 石川県推進委員会 作文コンテスト

北陸中日新聞代表賞 6年 鍛冶 里桜

石川県ジュニア川柳大賞

入選 6年 開 隆成

税に関する標語

優秀賞 6年 岡野 叶依 6年 中江 郷

防火（防災）ポスター入賞

金賞 4年 西 優太 銅賞 6年 中江 郷

石川県民書道展覧会

入選 6年 鍛冶 里桜

郡読書感想画コンクール

入選 6年 中江 郷 4年 河端 真央
4年 西 優太 3年 村井 彩華
2年 荒川 陽 2年 酒井 莉香
2年 長藤 祐貴



3校合同・おもちゃランド

身近にあるものを利用して「動くおもちゃ」を作り、そのおもちゃを持ち寄って「おもちゃランド」を開催する生活科の学習です。昨年度から、令和7年度に3校が統合することを見据えて、相見小と宝達小と3校合同で、「おもちゃランド」を開催しています。

子どもたちは、おもちゃ作りや、お店の準備など、協力して楽しみながら取り組むことができました。「おもちゃランド」当日も、他校の児童に遊び方をわかりやすく説明したり、遊び方のきまりを守って他校の児童とも楽しく交流したりすることができました。



昔遊び交流会

11月24日に行われた昔遊び交流会では、5つの遊びをボランティアの方々5名に教えていただきました。お年寄りの方に1対1で丁寧に教えていただき、とても楽しい時間を過ごすことができました。普段は家でゲームやネットでの遊びが多い最近の子ども達ですが、昔ながらの手作りの遊びにもすっかり夢中になっていました。



こま回し



お手玉



めんこ



けん玉



福笑い・あやとり



人権教室

昭和23年12月10日に、国連総会で「世界人権宣言」が採択されました。これを受けて日本では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」として、人権擁護機関等が中心となって、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。押水第一小学校でも、12月4日に宝達志水町の人権擁護委員の方々にご来校いただき、3・4年生を対象に「人権教室」を開いていただきました。

人権教室では、人権擁護委員の方が「こんな時どう行動すればよいか」と人権にかかわって判断に迷う場面を寸劇で表して児童に考えを聞いたり、だれにとっても使いやすいユニバーサルデザインの品物についてのクイズを出してくれたりしました。

人権擁護委員の方からは「押水第一小学校の子どもたちは、本当によく考え、私たち大人も気づかない素敵な考えをたくさん発表してくれてとても素晴らしかったです」とおっしゃっていただき、とても嬉しかったです。

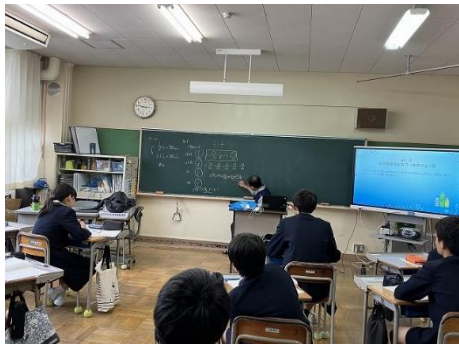


11月～12月の学校の様子

紋平柿収穫体験



算数教室(分数の不思議)



科学教室(表面張力)



ジャンボカルタ



児童集会(1年生の発表)



児童集会(全校遊び)

